

1. 現行計画の目標値と達成状況

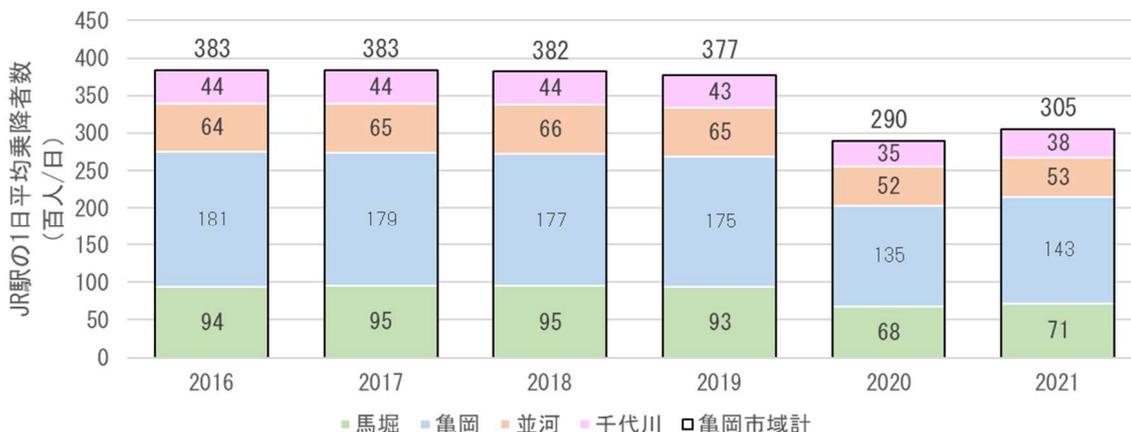
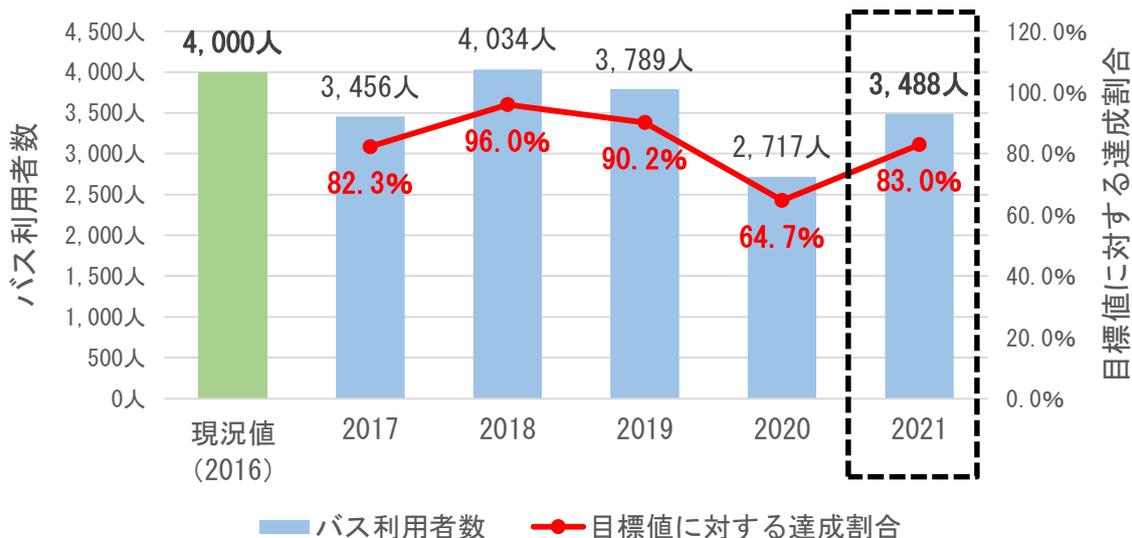
2019年度（令和元年度）から2023年度（令和5年度）までの5ヵ年で計画された「亀岡市地域公共交通網形成計画計画」の目標値は3指標あり、「バスの利用頻度の向上」は今年度実施予定の市民アンケート調査結果をもとに算出しますが、残り2指標は目標値を達成できていません。その理由として、コロナ感染症拡大に伴う外出控えが影響し、バス利用者数の減少、これに伴う収支率の減少に繋がったと推測されます。

成果指標1：バス利用者数の増加

(目標値に対する達成割合: 83%)

現況値	目標値	実績
バス利用者数 (1日あたり) 4,000人 【2016年度実績】	バス利用者数 (1日あたり) 4,200人 【2021年度実績】	バス利用者数 (1日あたり) 3,488人 【2021年度実績】

【算出方法】1日あたりのバス利用者数から算出
(ふるさとバス・コミュニティバス・京阪京都交通バス合計) 【出典】亀岡市統計書



【参考】JR各駅における1日平均乗降者数の状況

成果指標2:バスの利用頻度の向上

(目標値に対する達成割合: -)

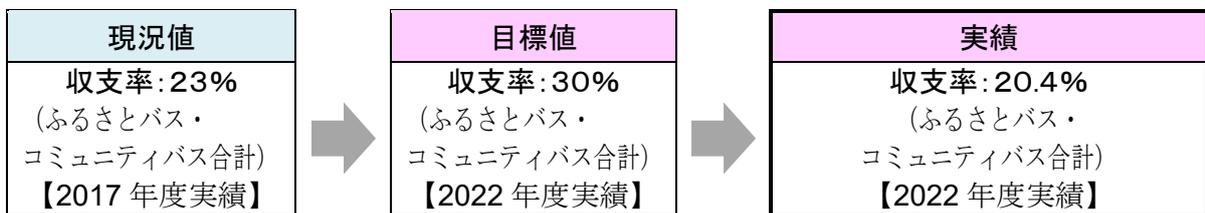


【算出方法】市民アンケート調査におけるバスの利用状況調査結果をもとに算出。

【出典】市民アンケート調査による回答

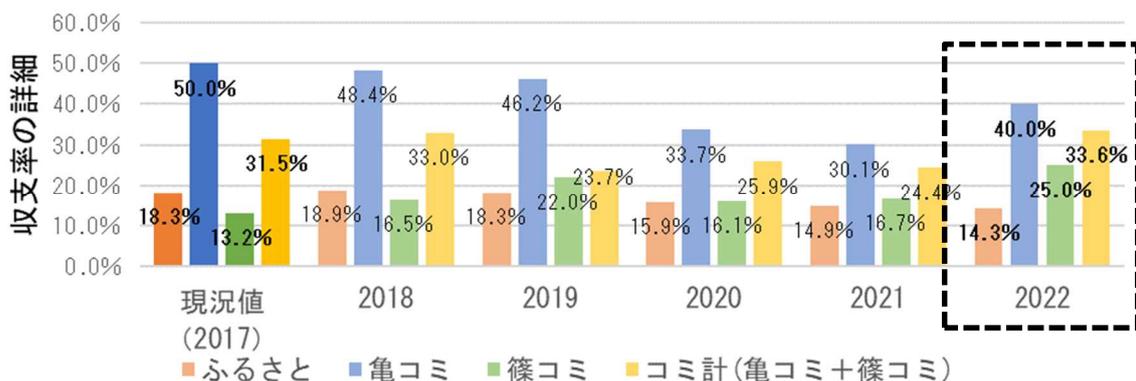
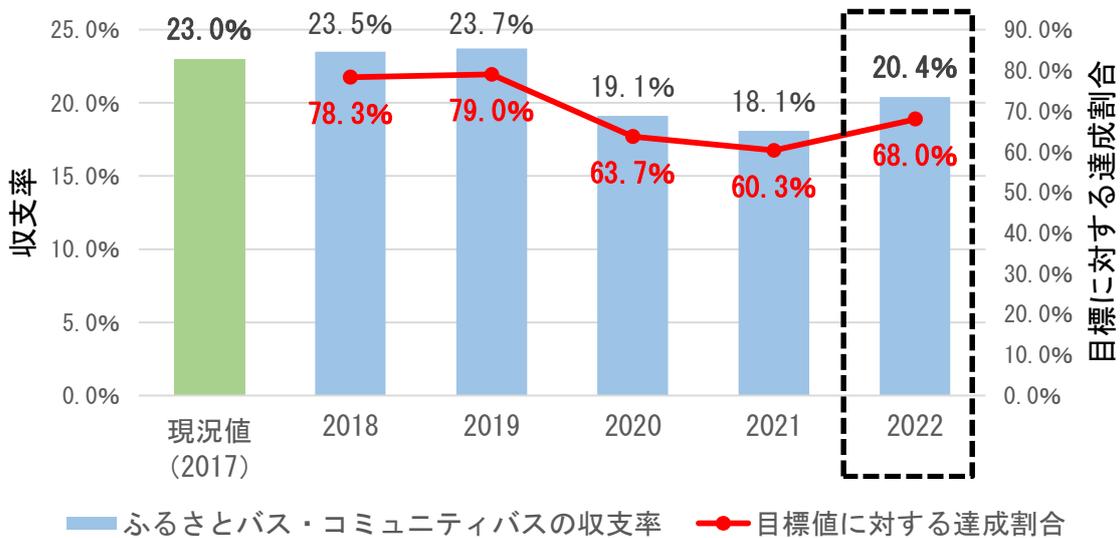
成果指標3:ふるさとバス・コミュニティバスの収支率の増加

(目標値に対する達成割合:68%)



【算出方法】ふるさとバス・コミュニティバスの経常費用、経常収益から算出。

【出典】亀岡市実績



2. 現行計画の施策評価

2.1 亀岡市地域公共交通網形成計画の取り組み内容

「亀岡市地域公共交通網形成計画計画」では、地域課題1～3、公共交通課題1～3に対して、下記に示す取り組みを行ってきました。

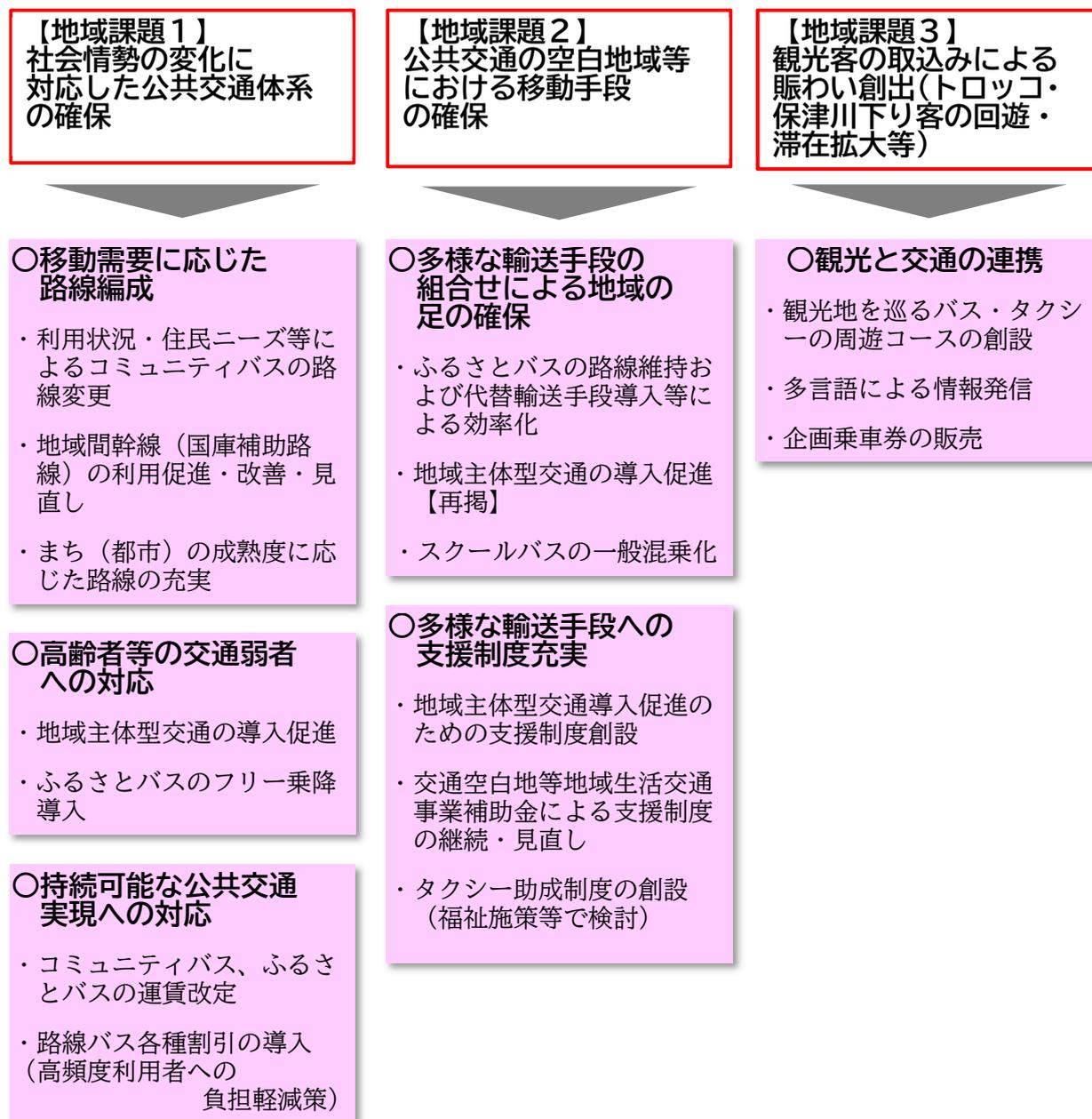


図2.1 地域課題への取り組み

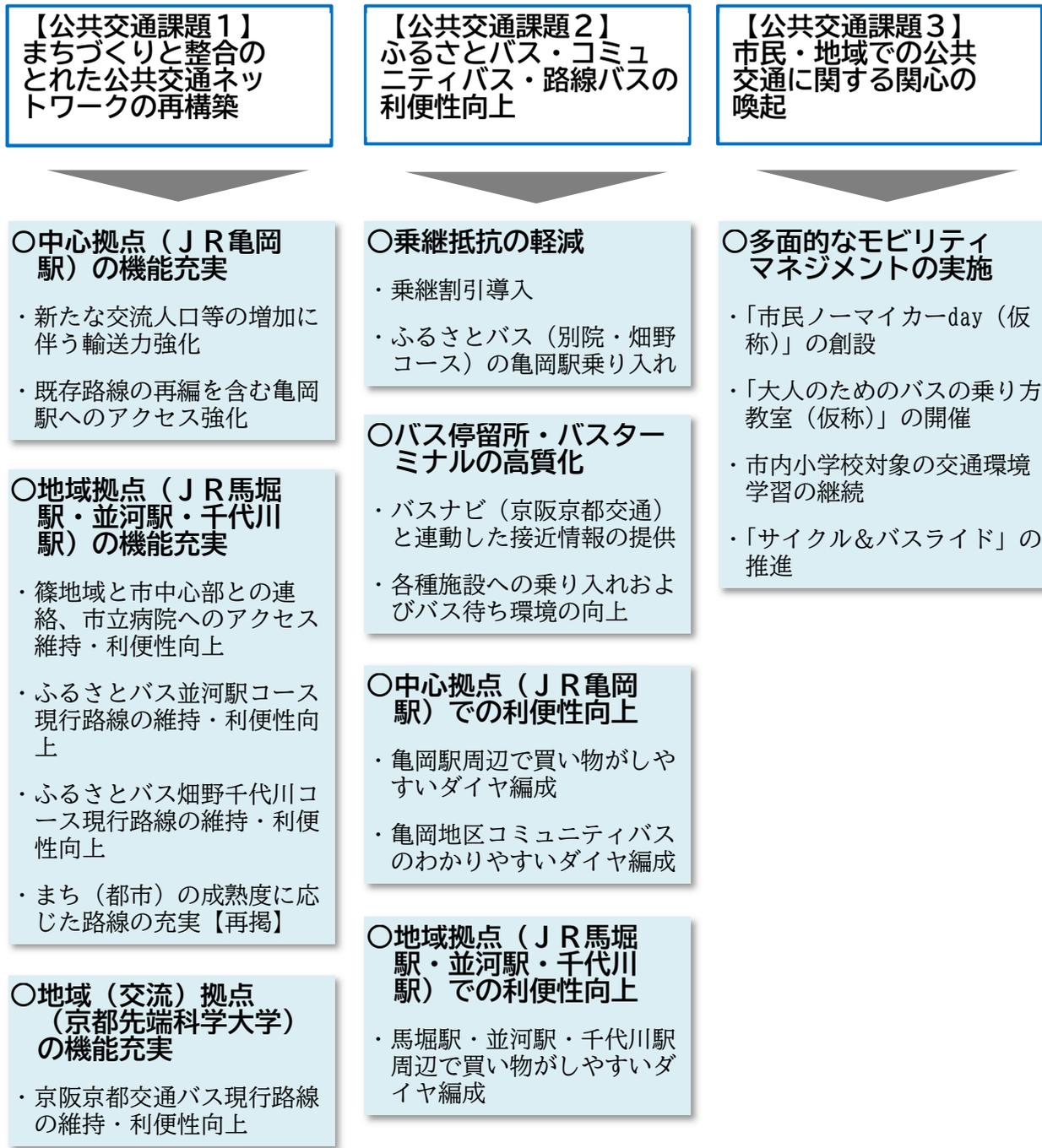


図2.2 公共交通課題への取り組み

2.2 亀岡市地域公共交通網形成計画の達成状況

(1) 達成状況（全体）

現況計画（亀岡市地域公共交通網形成計画）の各取り組みに対する達成状況を整理しました。なお、各取り組みの詳細は以降に示します。

表2-1 達成状況の一覧：地域課題1「社会情勢の変化に対応した公共交通体系の確保」

事業名	実施主体	実施内容	達成状況
利用状況・住民ニーズ等によるコミュニティバスの路線変更	バス事業者 亀岡市	継続的に利用状況や住民ニーズ等の把握を行い、亀岡地区コミュニティバスは午前中に西（左回り）コースへ変更を行うなど、必要に応じて路線を見直しました。	75%
地域間幹線（国庫補助路線）の利用促進・改善・見直し	バス事業者 亀岡市	「八田線」の沿線観光資源等（亀岡運動公園プールやコスモス園）の需要に応じて臨時便を運行しました。 「八田線」の沿線小学校向け交通環境学習を青子小学校1・2年生に対して実施し、沿線地域の利用促進を図りました。 「原・神吉線」、「神吉線」の沿線企業の通勤需要にあわせた路線変更やダイヤ改正を実施しました。 バス事業者と連携し、鉄道との乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を随時実施しました。	100%
まち（都市）の成熟度に応じた路線の充実	交通事業者 亀岡市	ふるさとバス並河駅コースにおいて、沿線の通勤需要にあわせて朝夕1便ずつ、大井工業団地への延伸を実施しました。 移動需要の把握を実施するなかで適宜路線の充実を検討していきます。	50%
地域主体型交通の導入促進	地域住民 亀岡市	地元自治会など複数団体との協議を実施し、導入を促進しました。	100%
ふるさとバスのフリー乗降導入	バス事業者 亀岡市	ふるさとバス別院コース、畑野コース及び畑野千代川コースの一部の区間で導入しました。	100%
コミュニティバス、ふるさとバスの運賃改定	バス事業者 亀岡市	今後も引き続き持続可能な公共交通の実現に向けた運賃改正（値上げ）について、継続して検討していきます。	25%
路線バス各種割引の導入（高頻度利用者への負担軽減策）	バス事業者 亀岡市	「市内バス共通フリー回数券」を発売しました。 「光秀公のまち亀岡一日乗車券」の販売を開始しました。	75%

表2-2 達成状況の一覧：地域課題2「公共交通の空白地域等における移動手手段の確保」

事業名	実施主体	実施内容	達成状況
ふるさとバスの路線維持および代替輸送手段導入等による効率化	交通事業者 亀岡市	路線維持を継続するなかで、地域主体型交通の導入を促進し、ふるさとバスの運行を補完する輸送手段の確保に取り組みました。	75%
地域主体型交通の導入促進【再掲】	地域住民 亀岡市	地元自治会など複数団体との協議を実施し、導入を促進しました。	100%
スクールバスの一般混乗化	バス事業者 亀岡市	教育部局と連携しスクールバスの一般混乗化に向けて継続して検討していきます。	25%
地域主体型交通導入促進のための支援制度創設	亀岡市	交通空白地等地域生活交通事業補助金要綱を一部改正し、支援制度の充実を図りました。	100%
交通空白地等地域生活交通事業補助金による支援制度の継続・見直し	亀岡市	支援制度を継続するなかで補助金要綱の一部改正を実施しました。	100%
タクシー助成制度の創設	亀岡市	福祉部門で導入済の敬老乗車券のタクシー利用を可能としました。 タクシー初乗り運賃 500 円割引を実施しました。	75%

表2-3 達成状況の一覧：

地域課題3「観光客の取込みによる賑わい創出（トロッコ・保津川下り客の回遊・滞在拡大等）」

事業名	実施主体	実施内容	達成状況
観光地を巡るバス・タクシーの周遊コースの創設	交通事業者 亀岡市	ラッピングバス・タクシーを施し、大河ドラマ館や光秀ゆかりの地を周遊出来る「桔梗シャトルバス」の運行を実施しました。 市内観光地をバスやタクシーで周遊出来る周遊バス事業を実施しました。	50%
多言語による情報発信	交通事業者 亀岡市	英語表記や音声案内に対応したバス車内案内表示装置を新たに設置し、停留所等の情報案内を実施しました。	75%
企画乗車券の販売	交通事業者 商業施設等 亀岡市	湯の花温泉の日帰り入浴料などが割引になる「光秀公のまち亀岡一日乗車券」の販売を開始しました。	50%

表2-4 達成状況の一覧：

公共交通課題1「まちづくりと整合のとれた公共交通ネットワークの再構築」

事業名	実施主体		達成状況
新たな交流人口等の増加に伴う輸送力強化	交通事業者 関係機関 亀岡市	京都スタジアムのJリーグをはじめとするイベント開催日において、バス事業者で市外鉄道駅やトロッコ亀岡駅から京都スタジアムへの直行バスの運行を開始され、鉄道事業者では臨時列車の運行を実施されました。	100%
既存路線の再編を含む亀岡駅へのアクセス強化	バス事業者 亀岡市	ふるさとバス川東コースの JR 亀岡駅北口への乗り入れを開始しました。 JR ダイヤ改正にあわせてバスのダイヤ改正を随時実施しました。	50%
篠地域と市中心部との連絡、市立病院へのアクセス維持・利便性向上	バス事業者 亀岡市	現行のアクセスを維持し運行を継続しました。	50%
ふるさとバス並河駅コース現行路線の維持・利便性向上	バス事業者 亀岡市	沿線の通勤需要にあわせて朝夕1便ずつ、大井工業団地への延伸を実施しました。	50%
ふるさとバス畑野千代川コース現行路線の維持・利便性向上	バス事業者 亀岡市	一部の区間でフリー乗降の導入を実施しました。 JR ダイヤ改正にあわせてバスのダイヤ改正を随時実施しました。	100%
まち（都市）の成熟度に応じた路線の充実【再掲】	交通事業者 亀岡市	ふるさとバス並河駅コースにおいて、沿線の通勤需要にあわせて朝夕1便ずつ、大井工業団地への延伸を実施しました。 適宜路線の充実を検討しました。	50%
京阪京都交通バス現行路線の維持・利便性向上	バス事業者 亀岡市	JR 亀岡駅から京都先端科学大学を運行する京阪京都交通バスでは、大学生の移動需要に対応した運行を確保しながら、JR 亀岡駅との乗り継ぎやふるさとバスの別院コースとの接続を考慮したダイヤ改正を随時実施し、ふるさとバスとの接続便に関する停留所時刻表や車内音声による案内を行うなど、利用者の利便性の向上を図りました。	100%

表2-5 達成状況の一覧：公共交通課題2「ふるさとバス・コミュニティバス・路線バスの利便性向上」

事業名	実施主体		達成状況
乗継割引導入	バス事業者 亀岡市	JR 亀岡駅への乗り入れとあわせて利用者の要望を把握するなかで検討しました。	25%
ふるさとバス（別院・畑野コース）の亀岡駅乗り入れ	バス事業者 亀岡市	乗継割引等の導入とあわせて利用者の要望等を把握するなかで実施可能性を検討しました。	25%
バスナビ（京阪京都交通）と連動した接近情報の提供	バス事業者 亀岡市	BUS NAVI（バスナビ）について、市内全てのバス停留所の標柱へのQRコードの掲出を実施し、市 SNS（LINE, Facebook）や広報物（ばすまっぷや時刻表など）において、積極的に活用を促す案内を実施した。	100%
各種施設への乗り入れおよびバス待ち環境の向上	バス事業者 関係機関 亀岡市	運動公園ターミナルにて上屋つき駐輪場を整備しました。 道路改良事業等にあわせてバスの停車スペースの改善や標柱の置石を埋設しました。 市内停留所20箇所にセンサーライトを設置しました。	75%
亀岡駅周辺で買い物がしやすいダイヤ編成	バス事業者 亀岡市	バス事業者と検討しました。	25%
亀岡地区コミュニティバスのわかりやすいダイヤ編成	バス事業者 亀岡市	バス事業者と検討しました。	25%
馬堀駅・並河駅・千代川駅周辺で買い物がしやすいダイヤ編成	バス事業者 亀岡市	バス事業者と検討しました。	25%

表2-6 達成状況の一覧：公共交通課題3「市民・地域での公共交通に関する関心の喚起」

事業名	実施主体		達成状況
「市民ノーマイカーday（仮称）」の創設	市民 交通事業者 関係機関 亀岡市	市内路線バスの運賃を無料にする「市民ノーマイカーDay」を実施し、バス交通の需要喚起や市内交通渋滞緩和等を図りました。	100%
「大人のためのバスの乗り方教室（仮称）」の開催	市民 バス事業者 亀岡市	「バスの乗り方リーフレット」を作成し、市内小学校対象の交通環境学習にて活用しました。 バスの乗り方教室の実施に向けて、バス事業者と検討しました。	50%
市内小学校対象の交通環境学習の継続	バス事業者 関係機関 亀岡市	継続的に実施しました。	100%
「サイクル&バスライド」の推進	バス事業者 関係機関 亀岡市	運動公園ターミナルにおいて駐輪場を整備しました。 亀岡市観光協会により、市内駅にて観光レンタサイクル事業を開始しました。	100%

(2) 地域課題への取り組みに関する達成状況

1) 地域課題1「社会情勢の変化に対応した公共交通体系の確保」に対する施策と実施内容

① 移動需要に応じた路線編成		
○利用状況・住民ニーズ等によるコミュニティバスの路線変更		
現行計画の 施策内容	・ 亀岡地区と篠地区のコミュニティバスについて、利用状況や住民ニーズ等を把握しながら、継続的に移動需要に応じた路線に見直していきます。	
実施内容	・ 毎年、継続的に利用状況や住民ニーズ等の把握を行うとともに、亀岡地区のコミュニティバスは午前中に西（左回り）コースへ変更を行うなど、必要に応じて路線を見直しました。（2020.3.14～）	
○地域間幹線（国庫補助路線）の利用促進・改善・見直し		
現行計画の 施策内容	・ 京阪京都交通バスが運行する「八田線」「原・神吉線」（地域間幹線として国庫補助対象路線）について、より一層赤字額を抑制し利便性の向上および利用促進を図るためにも運行するバス事業者と協議しつつ、移動需要に応じた路線となるよう改善し見直していきます。	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「八田線」の沿線観光資源等（亀岡運動公園プールやコスモス園）の需要に応じて臨時便を運行しました。 ・ 「八田線」の沿線小学校向け交通環境学習を青野小学校1・2年生に対して実施し、沿線地域の利用促進を図りました。（2019.12.4） ・ 「原・神吉線」、「神吉線」の沿線企業の通勤需要にあわせた路線変更やダイヤ改正を随時実施しました。（路線変更 2021.4.1～） ・ バス事業者と連携し、鉄道との乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を随時実施しました。 	
○まち（都市）の成熟度に応じた路線の充実		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大井町南部地区、千代川町高野林・小林地区で現在、土地区画整理事業による開発が進められており、既存の路線を基本とし、これらの移動需要に応じて路線の充実や利用の促進を図ります。 ・ 東つつじヶ丘など人口割合からすると路線が少ない箇所も存在するため、まちの成熟に合わせて適宜路線の充実を図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさとバス並河駅コースにおいて、沿線の通勤需要にあわせて朝夕1便ずつ、大井工業団地への延伸を実施しました。 ・ まちの成熟に合わせて移動需要の把握を実施するなかで適宜路線の充実を検討していきます。 	
事業名	実施主体	達成状況
利用状況・住民ニーズ等によるコミュニティバスの路線変更	バス事業者 亀岡市	75%
地域間幹線（国庫補助路線）の利用促進・改善・見直し	バス事業者 亀岡市	100%
まち（都市）の成熟度に応じた路線の充実	交通事業者 亀岡市	50%

② 高齢者等の交通弱者への対応		
○地域主体型交通の導入促進		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車両の規模による集落への進入の困難、車両の台数制限、バス運転手の確保の困難等の理由により、細街路へバス停留所を設定することが難しい場合、地域主体型交通の導入を促進し、地域住民の足の確保を図ります。 ・導入可能な地域を選定し、導入する輸送手段、運行を担う団体の有無、財源の確保等を図り、運輸局等の関係機関と協議する中で導入を促進します。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会など複数団体との協議を実施し、支援制度の案内や運輸局との協議を行うなかで導入を促進することで地域住民の交通手段の確保を図りました。[2021年度～] 	
○ふるさとバスのフリー乗降導入		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の交通弱者の中には、このバス停留所までの移動も困難な場合があるため、バス停留所以外でも乗降できるよう一部の区間でフリー乗降を導入し、移動ニーズに細やかに対応した利便性の向上を図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとバス別院コース、畑野コース及び畑野千代川コースの一部の区間でフリー乗降の導入し、高齢者等の交通弱者に対応した利便性の向上を図りました。[2020.3.14～] 	
事業名	実施主体	達成状況
地域主体型交通の導入促進	地域住民 亀岡市	100%
ふるさとバスのフリー乗降導入	バス事業者 亀岡市	100%

③ 持続可能な公共交通実現への対応		
○ふるさとバス、コミュニティバスの運賃改定		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者のサービス供給力の制約を踏まえると、利用促進の施策・事業だけでは現行路線の確保・維持が困難な場合も考えられるため、持続可能な公共交通の実現に向け、利用促進に関わる施策・事業と並行して、利用者にとって一定の運賃負担を行っていただくため、運賃改定（値上げ）に取り組めます。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年9月16日に運賃改定を実施したところですが、利用者と行政負担のバランスを考慮し、今後も引き続き持続可能な公共交通の実現に向けた運賃改定（値上げ）について、継続して検討していきます。 	
○路線バス各種割引の導入（高頻度利用者への負担軽減策）		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高頻度利用者の負担軽減策として、ふるさとバス・コミュニティバスの共通回数券や共通エリアフリー定期券、市内バス共通1日乗車券など、路線バス各種割引の導入を図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「市内バス共通フリー回数券」を発売し、利用者の運賃負担軽減を図りました。[2021・2022年度] ・任意の1日に限り、適用区間内を自由に乗り降りできるお得な乗車券「光秀公のまち亀岡一日乗車券」の販売を開始しました。[2020.1.11～] 	
事業名	実施主体	達成状況
コミュニティバス、ふるさとバスの運賃改定	バス事業者 亀岡市	25%
路線バス各種割引の導入（高頻度利用者への負担軽減策）	バス事業者 亀岡市	75%

2) 地域課題2「公共交通の空白地域等における移動手段の確保」に対する施策と実施内容

① 多様な輸送手段の組合せによる地域の足の確保		
○ふるさとバスの路線維持および代替輸送手段導入等による効率化		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の減少や財政負担の増加等の負の要素に関わらず路線を維持するため、ふるさとバスの一部路線や利用者の少ない時間帯等の運行において他の輸送手段での代替運行の導入等を考えます。 ・他の輸送手段として、予約型バスや乗合タクシー、自家用有償旅客運送、ボランティア輸送等に取り組みます。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・路線維持を継続するなかで、地域主体型交通（ボランティア輸送）の導入を促進し、ふるさとバスの運行を補完する輸送手段の確保に取り組みました。[2021年度～] 	
○地域主体型交通の導入促進【再掲】		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車両の規模による集落への進入の困難、車両の台数制限、バス運転手の確保の困難等の理由により、細街路へバス停留所を設定することが難しい場合、地域主体型交通の導入を促進し、地域住民の足の確保を図ります。 ・導入可能な地域を選定し、導入する輸送手段、運行を担う団体の有無、財源の確保等を図り、運輸局等の関係機関と協議する中で導入を促進します。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会など複数団体との協議を実施し、支援制度の案内や運輸局との協議を行うなかで導入を促進することで地域住民の交通手段の確保を図りました。[2021年度～] 	
○スクールバスの一般混乗化		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、南部・西部地域の小学校3校（東別院小、西別院小、畑野小）と中学校2校（別院中、育親中）のスクールバスは、利用者を小学生と中学生に限定して運行しています。 ・登下校の時間帯は、地域住民の通勤・通学（高校生以上）と重なるため、スクールバスの一般混乗化に向けた取り組みを進め、交通サービスの向上を図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小・中学校の統廃合が進んでいることから、教育部局と連携しスクールバスの一般混乗化に向けて継続して検討していきます。（ふるさとバス川東コースでは既に実施済） 	
事業名	実施主体	達成状況
ふるさとバスの路線維持および代替輸送手段導入等による効率化	交通事業者 亀岡市	75%
地域主体型交通の導入促進【再掲】	地域住民 亀岡市	100%
スクールバスの一般混乗化	バス事業者 亀岡市	25%

② 多様な輸送手段への支援制度充実

○地域主体型交通導入促進のための支援制度創設

現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「亀岡市交通空白地等地域生活交通事業補助金交付要綱」に基づく支援制度は、地域生活交通事業を実施する団体に対し運行経費や車両購入にかかる経費を補助していますが、交通空白地等に限定しています。 ・市内全域に地域主体型交通の導入を促進するために新たに支援制度を創設し、導入促進に向けて支援制度の充実を図ります。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域に地域主体型交通の導入を促進するため、「亀岡市交通空白地等地域生活交通事業補助金交付要綱」の一部改正（要綱上の交通空白地等を拡大）を行い、支援制度の充実を図りました。[2021.4.1～]

○交通空白地等地域生活交通事業補助金による支援制度の継続・見直し

現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体型交通の導入促進とあわせて、「亀岡市交通空白地等地域生活交通事業補助金交付要綱」に基づく支援制度を継続するとともに、地域が主体となって生活交通を維持・促進できるよう、支援制度の見直しを図ります。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「亀岡市交通空白地等地域生活交通事業補助金交付要綱」による支援制度を継続するなかで、要綱の一部改正（要綱上の交通空白地等を拡大）を実施することで地域主体型交通の促進を図りました。[2021.4.1～]

○タクシー助成制度の創設（福祉施策等で検討）

現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活交通としてタクシーしか利用できない地域住民を想定し、タクシー助成制度の創設に取り組みます。助成制度は、適用する利用者の条件、利用条件等を含め、福祉関連の関係部署と連携を図ります。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉部門で導入済の敬老乗車券のタクシー利用を可能としました。[2019.6.3～] ・タクシー初乗り運賃 500 円割引を実施しました。[2021・2022 年度 地方創生臨時交付金を活用した期間限定]

事業名	実施主体	達成状況
地域主体型交通導入促進のための支援制度創設	亀岡市	100% 
交通空白地等地域生活交通事業補助金による支援制度の継続・見直し	亀岡市	100% 
タクシー助成制度の創設	亀岡市	75% 

3) 地域課題3「観光客の取込みによる賑わい創出
(トロッコ・保津川下り客の回遊・滞在拡大等)」に対する施策と実施内容

① 観光と交通の連携		
○観光地を巡るバス・タクシーの周遊コースの創設		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は観光地周遊に特化したバス路線はありませんが、明智光秀を主人公とした2020年大河ドラマの放送を契機に、休日や観光客が多い時期にトロッコ亀岡駅からJR亀岡駅等を経由して、光秀ゆかりの地等を周遊できるよう、バスまたはタクシー事業者と協議し、観光客を対象とした周遊コースの創設に取り組みます。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年大河ドラマ「麒麟がくる」の放送にあわせて、ラッピングバス・タクシーを施し、大河ドラマ館や光秀ゆかりの地を周遊出来る「桔梗シャトルバス」の運行を実施しました。[2020.1.11~3.15、7.1~2021.1.22] ・観光再生事業として、市内観光地をバスやタクシーで周遊出来る周遊バス事業を実施しました。[2021年度 観光庁の補助金を活用した期間限定] 	
○多言語による情報発信		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はチラシや案内看板の一部で多言語を併記しているに留まるため、亀岡市の玄関口である各種鉄道駅において、観光資源や観光スポットへの公共交通アクセス情報を多言語で対応した上で、案内看板や電光掲示板、チラシ等で多言語での情報発信ができるよう、交通事業者や観光協会等と連携して取り組みます。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・英語表記や音声案内に対応したバス車内案内表示装置を新たに設置し、停留所等の情報案内を実施しました。[2019.9~] 	
○企画乗車券の販売		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・他の施策・事業と合わせて、観光客を対象とした公共交通の利用促進を図るため、バスのフリー乗車券と観光施設の優待特典を組み合わせた企画乗車券の販売に取り組みます。 ・企画乗車券（亀岡城下町1DAYクルーズパス）の販売を促進するとともに、光秀ゆかりの地を周遊するコースなど新たなモデルコースの創設や観光施設も含めた協賛店舗の増加など、来訪する観光客を公共交通利用への取込みを図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大河ドラマ館や光秀ゆかりの地を周遊出来る「桔梗シャトルバス」の運行を実施しました。[2020.1.11~3.15、7.1~2021.1.22] ・湯の花温泉の日帰り入浴料などが割引になる「光秀公のまち亀岡一日乗車券」の販売を開始しました。[2020.1.11~] 	
事業名	実施主体	達成状況
観光地を巡るバス・ タクシーの周遊コースの創設	交通事業者 亀岡市	50%
多言語による情報発信	交通事業者 亀岡市	75%
企画乗車券の販売	交通事業者 商業施設等 亀岡市	50%

(3) 公共交通課題への取り組みに関する達成状況

1) 公共交通課題1「まちづくりと統合的な公共交通ネットワークの再構築」

に対する施策と実施内容

① 中心拠点（JR亀岡駅）の機能充実		
○新たな交流人口等の増加に伴う輸送力強化		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 亀岡駅は立地適正化計画の中心拠点にも位置付けられていることから、京都スタジアム（仮称）の整備や亀岡駅北土地地区画整理事業による新たな人口等の増加や、Jリーグをはじめとするイベント時等に応じて、鉄道および路線バスの輸送力強化を図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都スタジアムでの Jリーグをはじめとするイベント開催日において、バス事業者で市外鉄道駅やトロッコ亀岡駅から京都スタジアムへの直行バスの運行を開始され、鉄道事業者では臨時列車の運行を実施されるなど、輸送力強化を行うことで交流人口の増加や市内交通渋滞緩和を図りました。 	
○既存路線の再編を含む亀岡駅へのアクセス強化		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 亀岡駅の北口を公共交通の交通結節点として、既存路線の再編を含め、この都市計画道路を運行する路線を創設し、JR 亀岡駅へのアクセス性を強化します。 ・ 市内全域から公共交通機関（JR・バス）により JR 亀岡駅へスムーズに移動できるよう、公共交通間の乗り継ぎを改善・見直し、アクセスの強化を図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 亀岡駅北口へつながる市道の開通にあわせて、ふるさとバス川東コースの JR 亀岡駅北口への乗り入れを開始しました。[2021.3.13～] ・ JR ダイヤ改正にあわせてバスのダイヤ改正を随時実施しました。 	
事業名	実施主体	達成状況
新たな交流人口等の増加に伴う輸送力強化	交通事業者 関係機関 亀岡市	100%
既存路線の再編を含む亀岡駅へのアクセス強化	バス事業者 亀岡市	50%

② 地域拠点（JR馬堀駅・並河駅・千代川駅）の機能充実

○篠地域と市中心部との連絡、市立病院へのアクセス維持・利便性向上

現行計画の 施策内容	・JR馬堀駅周辺で運行している篠地区コミュニティバスは、市立病院へも乗り入れを行っていますが、移動需要に応じた路線編成に取り組み、利便性の向上を図ります。
実施内容	・現行のアクセスを維持し運行を継続しました。

○ふるさとバス並河駅コース現行路線の維持・利便性向上

現行計画の 施策内容	・ふるさとバス並河駅コースについて、移動需要に応じた路線編成に取り組み、今後も現行路線を確保・維持しながら利便性の向上を図ります。
実施内容	・沿線の通勤需要にあわせて朝夕1便ずつ、大井工業団地への延伸を実施しました。[2019.10.1~]

○ふるさとバス畑野千代川コース現行路線の維持・利便性向上

現行計画の 施策内容	・ふるさとバス畑野千代川コースについて、移動需要に応じた路線編成に取り組み、今後も現行路線を確保・維持しながら利便性の向上を図ります。
実施内容	・一部の区間でフリー乗降の導入し、高齢者等の交通弱者に対応した利便性の向上を図りました。[2020.3.14~] ・JRダイヤ改正にあわせてバスのダイヤ改正を随時実施しました。

○まち（都市）の成熟度に応じた路線の充実【再掲】

現行計画の 施策内容	・大井町南部地区、千代川町高野林・小林地区で現在、土地区画整理事業による開発が進められており、既存の路線を基本とし、これらの移動需要に応じて路線の充実や利用の促進を図ります。 ・東つつじヶ丘など人口割合からすると路線が少ない箇所も存在するため、まちの成熟に合わせて適宜路線の充実を図ります。
実施内容	・ふるさとバス並河駅コースにおいて、沿線の通勤需要にあわせて朝夕1便ずつ、大井工業団地への延伸を実施しました。[2019.10.1~] ・まちの成熟に合わせて移動需要の把握を実施するなかで適宜路線の充実を検討しました。

事業名	実施主体	達成状況
篠地域と市中心部との連絡、市立病院へのアクセス維持・利便性向上	バス事業者 亀岡市	50%
ふるさとバス並河駅コース現行路線の維持・利便性向上	バス事業者 亀岡市	50%
ふるさとバス畑野千代川コース現行路線の維持・利便性向上	バス事業者 亀岡市	100%
まち（都市）の成熟度に応じた路線の充実【再掲】	交通事業者 亀岡市	50%

③ 地域（交流）拠点（京都先端科学大学）の機能充実		
○京阪京都交通バス現行路線の維持・利便性向上		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・京都先端科学大学を経由する京阪京都交通バスは、ふるさとバスの別院コースとの接続により南部地域の生活の足になっており、京都先端科学大学の学生も多く利用することから、移動需要に応じた路線編成に取り組み、今後も現行路線を確保・維持しながら利便性の向上を図ります。 ・また、JR 亀岡駅周辺（中心拠点）からのアクセスを強化させることで、地域（交流）拠点（京都先端科学大学）の機能の充実を図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 亀岡駅から京都先端科学大学を運行する京阪京都交通バスでは、大学生の移動需要に対応した運行を確保しながら、JR 亀岡駅との乗り継ぎやふるさとバスの別院コースとの接続を考慮したダイヤ改正を随時実施し、ふるさとバスとの接続便に関する停留所時刻表や車内音声による案内を行うなど、利用者の利便性の向上を図りました。 	
事業名	実施主体	達成状況
京阪京都交通バス現行路線の維持・利便性向上	バス事業者 亀岡市	 100%

2) 公共交通課題2「ふるさとバス・コミュニティバス・路線バスの利便性向上」に対する施策と実施内容

① 乗継抵抗の軽減		
○乗継割引導入		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・京都先端科学大学（地域（交流）拠点）、運動公園ターミナル（生活サービス拠点）での乗継ぐ場合、運賃はふるさとバスと京阪京都交通バスで併算となり、利用者に負担感があることから、バス事業者と協議しながら2路線間の乗継割引の導入等によって運賃の負担軽減を図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乗継割引の導入については、行政負担の増加を考慮し、JR 亀岡駅への乗り入れとあわせて利用者の要望等を把握するなかで実施可能性を検討しました。 	
○ふるさとバス（別院・畑野コース）の亀岡駅乗り入れ		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乗継割引導入にあわせ、一部の便だけでもJR 亀岡駅へ乗り入れられるよう取り組みを進め、ふるさとバスの改善を図ります。特に、車両規模（ふるさとバス：中型車両、京阪京都交通バス：大型車両）やバス運転手の遊休時間等を考慮した車両運用、近年のバス業界全体の人手不足に留意しながら取り組みます。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとバス（別院・畑野コース）のJR 亀岡駅への乗り入れについては、ふるさとバスの便数の減少、運行経費の増加や運賃負担のあり方など、様々な課題があることからバス事業者と協議しながら、乗継割引の導入等とあわせて利用者の要望等を把握するなかで実施可能性を検討しました。 	
事業名	実施主体	達成状況
乗継割引導入	バス事業者 亀岡市	 25%
ふるさとバス（別院・畑野コース）の亀岡駅乗り入れ	バス事業者 亀岡市	 25%

② バス停留所・バスターミナルの高質化		
○バスナビ（京阪京都交通）と連動した接近情報の提供		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・BUS NAVI（バスナビ）案内で利用者への情報提供を充実させるため、バス停留所の標柱へのQRコード※掲出等により、BUS NAVI（バスナビ）と連動した接近情報の提供を図ります。 ※QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・BUS NAVI（バスナビ）について、市内全てのバス停留所の標柱へのQRコードの掲出を実施し、市SNS（LINE, Facebook）や広報物（ばすまっぷや時刻表など）において、積極的に活用を促す案内を実施しました。 	
○各種施設への乗り入れおよびバス待ち環境の向上		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い利用者層にバス交通を継続的に利用してもらうため、高齢者等の要支援者を含む多くの利用者が見込まれる施設（病院、商業施設、役所等）へ可能な限り施設敷地内にバス停留所を設定できるよう、降車後の移動負担の軽減を図ります。 ・また、鉄道との接続拠点やバス同士の乗り継ぎ拠点の停留所では、上屋やベンチの設置、縁石や乗降デッキの工夫・改良等のバス待ち環境の向上を図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バス同士の乗り継ぎ拠点である運動公園ターミナル停留所において、上屋付き駐輪場の整備を実施し、環境の向上を図りました。[2022年度] ・道路改良事業等にあわせて、バスの停車スペースの改善や標柱の置石を埋設することで停留所周辺環境の安全確保を随時図りました。 ・市内停留所20箇所にセンサーライトを設置し、夜間のバス待ち環境の整備を図りました。[2022年度] 	
事業名	実施主体	達成状況
バスナビ（京阪京都交通）と連動した接近情報の提供	バス事業者 亀岡市	100%
各種施設への乗り入れおよびバス待ち環境の向上	バス事業者 関係機関 亀岡市	75%

③ 中心拠点（JR 亀岡駅）での利便性向上		
○亀岡駅周辺で買い物がしやすいダイヤ編成		
現行計画の 施策内容	・ JR 亀岡駅周辺での買い物客に対して利便性の向上を図るため、1時間程度買い物をして帰ることができる等、JR 亀岡駅周辺で買い物がしやすいダイヤ編成に取り組みます。その際、全便で難しい場合には特定の便だけでも実施できるよう取り組みを進めます。	
実施内容	・ バス事業者と検討しました。	
○亀岡地区コミュニティバスのわかりやすいダイヤ編成		
現行計画の 施策内容	・ 亀岡地区で運行しているコミュニティバスについて、利用者への利便性向上のため、一部の路線を変更することなどによって、わかりやすいダイヤ編成（パターンダイヤ）に取り組みます。	
実施内容	・ バス事業者と検討しました。	
事業名	実施主体	達成状況
亀岡駅周辺で買い物がしやすいダイヤ編成	バス事業者 亀岡市	 25%
亀岡地区コミュニティバスのわかりやすいダイヤ編成	バス事業者 亀岡市	 25%

④ 地域拠点（JR 馬堀駅・並河駅・千代川駅）での利便性向上		
○馬堀駅・並河駅・千代川駅周辺で買い物がしやすいダイヤ編成		
現行計画の 施策内容	・ JR 馬堀駅周辺・並河駅周辺・千代川駅周辺で、昼間の時間帯の買い物客に対して利便性の向上を図るため、JR 亀岡駅周辺と同様、1時間程度買い物をして帰ることができる等、駅周辺で買い物がしやすいダイヤ編成に取り組みます。 ・ その際、全便で難しい場合には特定の便だけでも実施できるよう取り組みを進めます。	
実施内容	・ バス事業者と検討しました。	
事業名	実施主体	達成状況
馬堀駅・並河駅・千代川駅周辺で買い物がしやすいダイヤ編成	バス事業者 亀岡市	 25%

3) 公共交通課題3「市民・地域での公共交通に関する関心の喚起」に対する施策と実施内容

① 多面的なモビリティマネジメントの実施		
○「市民ノーマイカーday（仮称）」の創設		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の公共交通に関する意識を高め、路線バスの利用促進やノーマイカー通勤推進のため「市民ノーマイカーday（仮称）」の創設を図ります。 ・ノーマイカー通勤へのきっかけづくりを行うため、「毎月〇日は、無料で乗車可能」など、ノーマイカー通勤時の公共交通の運賃負担軽減策に取り組みます 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内路線バスの運賃を無料にする「市民ノーマイカーDay」を実施し、環境にやさしいバス交通の需要喚起や京都スタジアムでのイベント開催日の市内交通渋滞緩和等を図りました。[2021・2022・2023年度] 	
○「大人のためのバスの乗り方教室（仮称）」の開催		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を対象として、バスの乗り方教室を企画・開催し、公共交通の利用促進や公共交通に対する理解の向上を図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「バスの乗り方リーフレット」を作成し、市内小学校対象の交通環境学習にて活用しました。[2022年度] ・バスの乗り方教室の実施に向けて、バス事業者と検討しました。 	
○市内小学校対象の交通環境学習の継続		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用促進や公共交通に対する理解向上のため、以前より継続的に取り組んでいる小学校での交通環境学習を今後も継続します。 ・バス事業者と協力してバス車両の展示、実際のバスの乗り方、路線バスの現状等、対象となる小学生の学年にあった学習内容を企画し、より効果的な授業ができるよう工夫します。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校への交通環境学習を継続的に実施することで、自分たちの住んでいる地域や環境問題、まちづくりについて気づくためのきっかけづくりを行い、公共交通の利便促進を図りました。 2023年度 大井小学校6年生 2022年度 大井小学校6年生 2021年度 詳徳小学校6年生 2019年度 青野小学校1・2年生 	
○「サイクル&バスライド」の推進		
現行計画の 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの利便性向上のため、バス停留所付近まで自転車を利用しバスに乗り継ぐ「サイクル&バスライド」を推進します。 ・既存公共施設の駐輪場活用や、市内の企業・商業施設等の駐輪スペース提供の協力を呼びかける等、地域住民の足の確保を図ります。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとバスと京阪京都交通バスの乗り継ぎ拠点である運動公園ターミナルにおいて駐輪場を整備し、良好な駐輪スペースの確保を実施しました。[2022年度] ・亀岡市観光協会により、市内 JR 駅にて観光レンタサイクル事業を開始しました。[2020.10.1~] 	
事業名	実施主体	達成状況
「市民ノーマイカーday（仮称）」の創設	市民、交通事業者 関係機関、亀岡市	100%
「大人のためのバスの乗り方教室（仮称）」の開催	市民、バス事業者 亀岡市	50%
市内小学校対象の交通環境学習の継続	バス事業者 関係機関、亀岡市	100%
「サイクル&バスライド」の推進	バス事業者 関係機関、亀岡市	100%